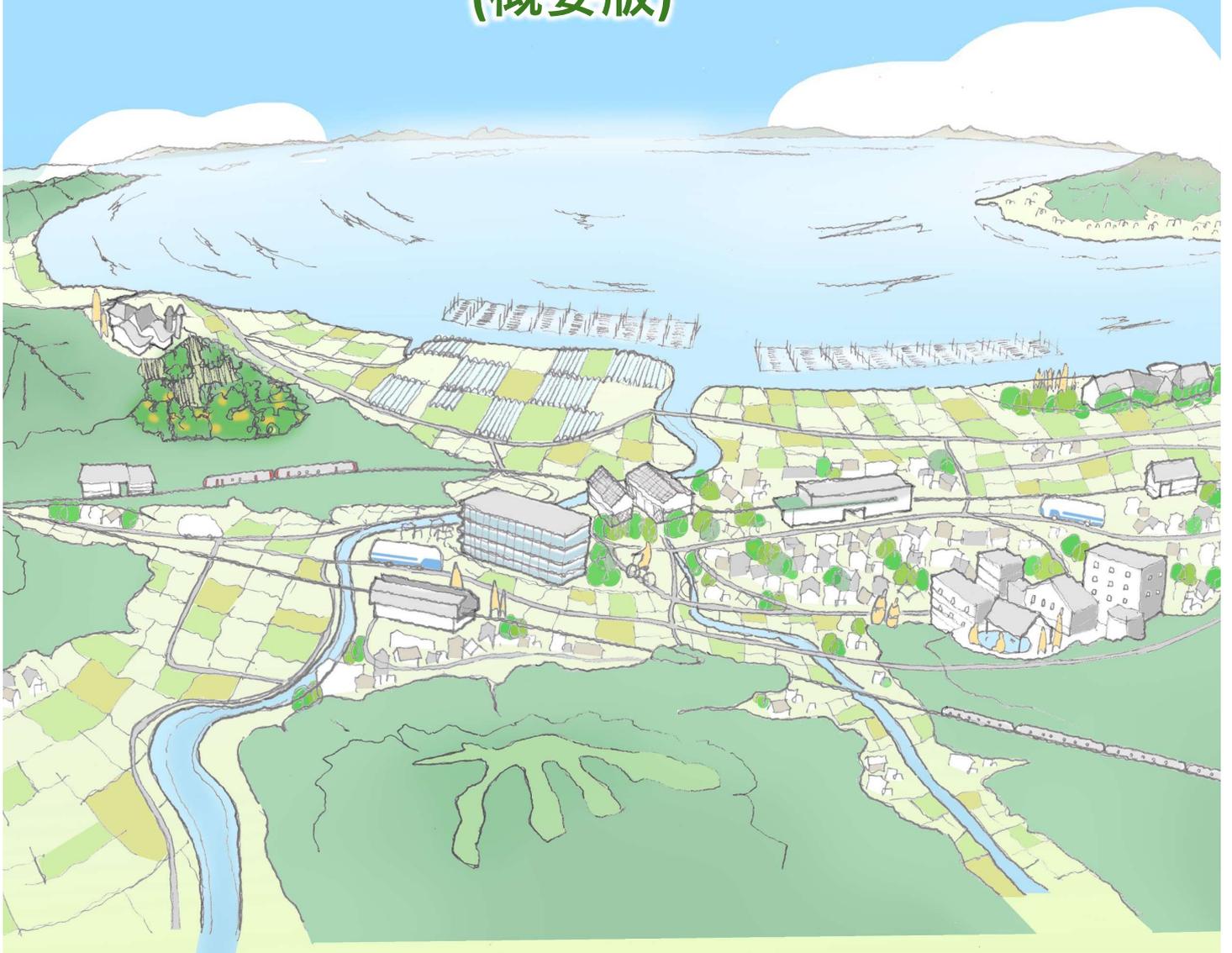


玉名市まちなかグランドデザイン

まちなか未来図

(概要版)



【発行】玉名市 【編集】玉名市まちなか未来プロジェクト
【お問合せ】建設部 都市整備課
TEL : 0968-75-1122 / Email : toshi@city.tamana.lg.jp

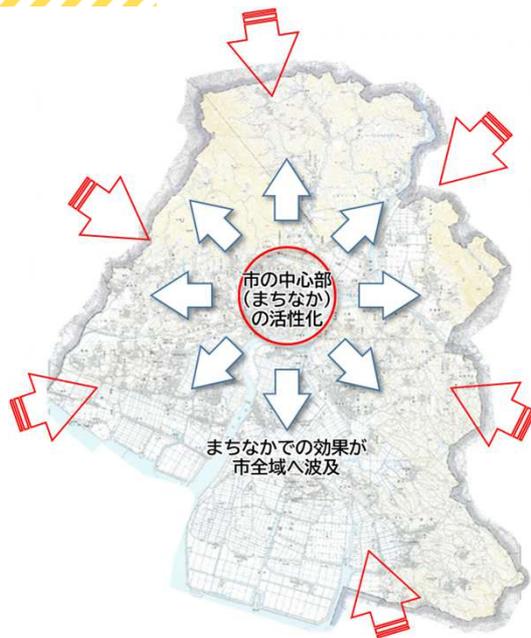
まちなか未来図ってなに？

まちなか未来図は、玉名市に関わるみんなが、
未来を考えていくための「指針」です。

玉名市のまちなかは、市の中心部として市民の暮らしを支え、人が集まり、交流が生まれる場所です。

この「まちなかエリア」をもっと元気にして、みんなが笑顔で楽しく暮らせるように、たくさんの人と協力してまちづくりに取り組み、その効果を市全域に広げていきたいと考えています。

そこで、これからのまちづくりの指針を定めた計画が、
～玉名市まちなかランドデザイン～『まちなか未来図』です。



私たちが考えなければいけない、まちなかの課題

進む人口減少と少子高齢化

今後20年で2,000人も減少する予想であるまちなかの人口高齢化率は約34%に…



駅利用者数の減少

玉名駅や新玉名駅の乗車人員は減少傾向…



若者の流出

進学や就職で市外に出て行った若者が戻ってこない…

空き家の増加

玉名市の空き家率は全国や県平均に比べて高いらしい…



商業活力の低下

まちなかの店舗や飲食店などの数は年々減っている…

人口減少や少子高齢化に伴って、にぎわいや魅力・利便性の低下も…

まちなか未来図を広げて、みんなでこれからのまちづくりを考えよう



まちなか未来図

まちなか未来図のあいことば

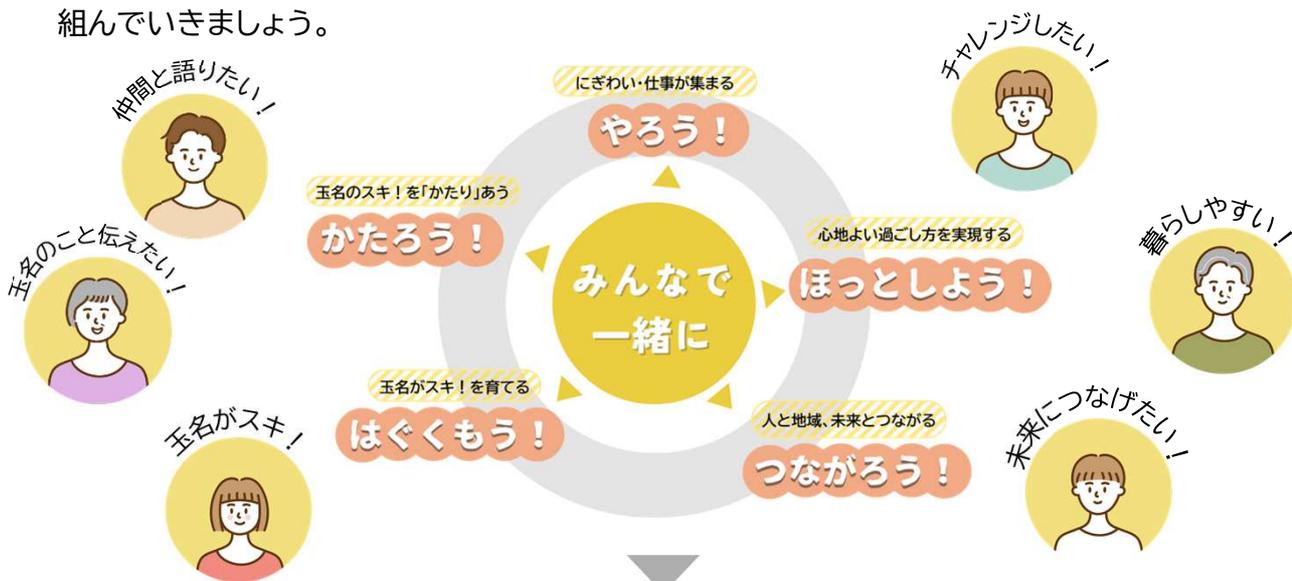


誰もが幸せを実感し、笑顔で「玉名大好き！」と自信を持って語れるまちを未来の世代に引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが自分たちのまちに意見を出し合い、一緒に行動していくことが大事だと考えます。

そこで、『みんなでつくろう！幸せ実感、大好き玉名』を私たちのあいことばとして、一緒にまちづくりを進めていきましょう！

幸せ実感に向けた5つのコンセプト

「幸せを実感するまち」を実現するために、『みんなで一緒に「やろう！」「かたろう！」「ほっとしよう！」「はぐくもう！」「つながろう！』の5つをコンセプトとして掲げ、まちづくりに取り組んでいきましょう。



目指す姿

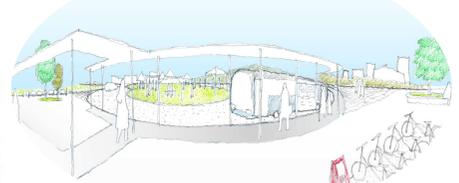
私たちが笑顔で“幸せを実感”するまち

まちなか未来図



新玉名駅エリア シン・玉名を創るエリア

エリアの未来図
 周辺の自然や歴史・景観と調和しつつ市民や観光客、ビジネス利用者などが娯楽、買物、宿泊、健康づくりなどを楽しめる多くの機能がつながるエリア



温泉エリア 元気が湧く、くつろぎエリア

エリアの未来図
 市民やまちなかを訪れる人が一日中温泉でくつろいだり公園で遊んで過ごし、元気になるエリア



文教エリア 学びと交流エリア

エリアの未来図
 中高生をはじめ、多世代の住民が集まり、それぞれの興味を持ったことや、やりたいことに取り組みすることができる学びと交流のエリア



エリアごとの未来図

まちなかを6つのエリアに分け、それぞれの特色とポテンシャルを生かしたまちづくりに向けたエリアイメージを考えました。みんなで考えたエリアごとの未来図や、あなたが思う「こうなったら良いな」と思うアイデアを一緒に実現しましょう！

玉名駅エリア まちなかの玄関口

エリアの未来図
 通勤・通学者やまちなかを訪れる人みんなが自分時間を楽しむことができる、まちなかへの出発点となるエリア



駅通りエリア 駅とマチを楽しくつなぐ寄り道エリア

エリアの未来図
 まちなかを訪れる人や働く人々が、昼も夜も通りを散策し、ふらりと立ち寄り楽しく過ごす、暮らしやすいさと居心地の良さを兼ねそろえたエリア



高瀬・繁根木エリア 風情ただよう“うろんころん”エリア

エリアの未来図
 市民やまちなかを訪れる人が歴史や文化を感じたり、菊池川の自然の恵みに触れることができる、人に紹介したくなるエリア



まちなかの「あの場所」ってどうなる？（公有地利活用の方針）

まちなかにある市が所有する土地は、それぞれの計画に基づいて活用していきます。
活用方法については、民間の企業などと協力して、持続可能で新しい発想を取り入れた方法を積極的に検討する予定です。

旧庁舎跡地

中央病院跡地

商業施設跡地

ビジョン

子どもが
健やかに成長し
親が安らぎを
感じる空間

自分らしく
(ホーム)
過ごせる家、
ともに活動
(ベース)
できる基地

地域の回遊性を
高める拠点

中心となる行政機能

中心となる行政機能



まちづくりのロードマップ

2025年(令和7年)度～
短期的取組

2030年(令和12年)度～
中期的取組

2035年(令和17年)度～
長期的取組

まちなか
未来図



旧庁舎跡地活用検討
中央病院跡地活用検討
商業施設跡地活用検討

ワンデイング、
各跡地活用
方針の策定

アクションプログラムに
基づく整備

整備空間の活用

まちなか未来図の実現へ

まちなか未来図のポイント

1

エリアの特色を生かしたまちづくり

まちなかを6つのエリアに分け、エリアの歴史や町並み、人財を生かした地域密着型のまちづくり



2

市民・事業者・行政が連携したまちづくり

まちに関わる人々が連携し、主体的に活躍する官民連携のまちづくり



3

エリアやまちなかの拠点整備

公有地を利活用し、エリアやまちなかを訪れる目的となるような拠点づくり



まちづくりを進める「みんな」

玉名市の未来を創るため、『玉名市まちなかプラットフォーム』をはじめとする市民のみなさん、事業者、行政が協力して、仲間を増やしながら、まちづくりを進めていきます。

まちなか未来図の検討・実現に向けた取組



玉名市まちなかプラットフォーム

玉名市まちなか未来デザイン協議会

未来図の実現に向けた取組を応援・審議してまちづくりの実行力を高める専門家集団

まちなか魅力向上委員会

仲間を増やしつつ、社会実験などを通してチャレンジを進めるまちづくりの実行部隊

市民・民間との連携・協議



玉名市まちなか未来プロジェクトチーム

玉名市 各部署

イベントへの参加・継続的な活動



市民団体・まちづくり団体
市民、地権者、事業者 など

まちなか未来図に関わった「みんな」とその思い

中野さん（玉名市まちなか未来デザイン協議会副会長、九州看護福祉大学教授）



大学の資源を生かしながら、地域の大学としてまちの役に立てる仕組みを作っていきたい。学生と地域に足を運び、まずはまちを知ることから始めたいです。

地域とつながる「産前教育」「親育て」が最も大事だと考えています。地域住民との多世代交流を深め、親子にとって「親しみを持てるまち」になると良いですね。



石津さん（玉名市まちなか未来デザイン協議会委員、助産師）

平野さん（まちなか魅力向上委員会、地域コミュニティ Aru）



人は応援されたり肯定されると前向きに動けると感じています。対話を重ねたり、同じ時間を共有するプロセスを大切にしたい。取組が、玉名のまちに広がっていくと良いなと思います。

玉名にはたくさんの魅力や資源があります。花しょうぶまつりや花火大会などをきっかけに、多くの人にまち歩きを楽しんでもらえるようになって良いですね。



竹内さん（まちなか魅力向上委員会、高専教員）

米倉さん（まちなか魅力向上委員会、飲食店経営者）



活気があり誰もが楽しめるまちにしたい。そのためにも飲食業の視点からまちづくりに意見し、他業種とも連携したイベントを企画しながら玉名を盛り上げたいです。

「玉名まだまだいけるぞ！」という勢いが生まれてほしい。民間・行政が混ざり合いながら活動できたらいいなと思います。様々な取組にフットワーク軽く参加したいです。



内田さん（玉名市まちなか未来プロジェクトチーム、玉名市企画経営課）

あなたも「みんな」にかたりませんか？

まずは、「まちなか未来図」についてもっと知りたいな・派のあなたは

玉名市ホームページでまちなか未来図の本編をご覧ください。

「玉名市 まちなか未来図」で検索 🔍

主体的にまちづくりに関わってみたい！・派のあなたは

まちなか魅力向上委員会のメンバーになってみませんか？
詳しくは、表紙のお問合せ先まで！

まちなか魅力向上委員会
メンバー募集
ホームページはこちら⇒



みんなの取り組みを見守りたい！・派のあなたは

noteで活動内容などを発信する予定です！
ぜひチェックしてください。

玉名市まちなか未来
プロジェクト
活動記録はこちら⇒



楽しそうなことがあれば参加してみたいな・派のあなたは

これからまちなかエリアでいろいろなイベントや社会実験を企画する予定です。
イベントなどへの参加を通して、まちなかの動きを実感してみてください。